

議 事 録

会議名	釧路市障がい者自立支援協議会 第4回 運営会		
事務局	釧路市障がい福祉課 釧路市障がい者基幹相談支援センター		
開催日時	令和6年3月25日(木) 15:00~16:00		
開催場所	釧路市役所 防災庁舎5階 会議室A		
出席者	部会員	出席8名 相談支援部会～早川副部長(ハート釧路) 竹内副部長(地域支援センターつばさ) 生活支援部会～高橋部長(鶴が丘学園) 井上副部長(生活介護事業所あゆみ) 雇用就労部会～和泉部長(はしどいワークラボりれいと) 梶野副部長(音羽協働センター) 原田副部長(障がい者就業・生活支援センターぷれん) 教育療育部会～池田部長(釧路市児童発達支援センター)	
	その他		
	傍聴者		
	事務局	出席7名 小池・清水・小林・鈴木(釧路市 障がい福祉課) 柿沼・林・吉川(釧路市障がい者基幹相談支援センター) (敬称略)	
会議次第	1. 開 会 2. 挨拶 釧路市障がい者自立支援協議会運営会長 和泉 宣也 3. 議 事 (1) 専門部会の活動状況について (2) 今年度の振り返り (3) 次年度の活動計画 (4) 次年度の役員体制 (5) 障がい者地域生活支援拠点等事業について (6) その他 4. 閉 会		

議 事 内 容

1. 開 会

2. 挨拶

釧路市障がい者自立支援協議会運営会長 和泉 宣也

3. 議 事

(1) 専門部会の活動状況について

○各部会より報告。

<相談支援部会>

- ・ 1月19日 第6回相談支援部会に向けて、役員会を開催。
- ・ 2月14日 第6回相談支援部会を開催。今年度の振り返りと次年度の活動内容について、部会員より意見を聴取。
- ・ 3月21日 役員会にて、次年度の体制と振り返りを基に活動計画について協議。
- ・ 前年度と今年度はテーマを持って部会を行い、協力員には部会運営に参加していただいた。
- ・ 相談支援事業所は増えたが、相談支援専門員は増えておらず、繋がりをもちたい方が多くいると感じている。

<生活支援部会>

- ・ 10月30日、12月5日 第3回生活支援部会に向けて、役員会を開催。事例紹介の内容を確認。
- ・ 12月13日に第3回生活支援部会を予定していたが、参加者のコロナ・インフルエンザの感染状況により、中止とした。
- ・ 2月28日 第4回生活支援部会を開催。事例紹介と役員改選に関するアンケートの取りまとめ結果について報告をした。
- ・ 事業所より、地域課題に関する意見をいただいた。今後、生活支援部会で課題提起していくかを協議していく。

<雇用就労部会>

- ・ 11月1日 第3回雇用就労部会に向けて、役員会を開催。
- ・ 11月7日 第3回雇用就労部会を開催。関係機関との連携として、くらしごとと若者サポートステーションより活動紹介、すまいる946の事例発表とケース検討を行った。
- ・ 12月5日 第4回雇用就労部会に向けて、役員会を開催。
- ・ 12月11日 第4回雇用就労部会を開催。自立センター高谷所長を講師に招き、「就労選択支援事業」について講演をいただく。
- ・ 2月27日 第5回雇用就労部会を開催。事前に送付していた令和5年度の振り返りと令和6年度の取り組みたいテーマ及び役員改選についてのアンケートを基に協議を行う。

<教育療育部会>

- ・ 1月11日 第4回教育療育部会、第3回医療的ケア児・者支援検討会議に向けて、役員会を開催。
- ・ 2月8日 第4回教育療育部会、第3回医療的ケア児・者支援検討会議を開催。教育療育部会では、放課後等デイサービスのつどいの開催結果、令和6年度事業所一覧、活動報告、令和6年度の活動内容、役員改選について協議。医療的ケア児・者支援検討会議では、令和5年度在宅の医療的ケア児、重症心身障がい児・者に関する状況調査についての報告、GWにて医療的ケア児・者が地域で生活するためのサービス等につなげる際の困りごとなどを協議。

○委員からの質疑応答及び意見

- ・ 相談支援部会の協力員について質問。雇用就労部会でも次年度より協力員をお願いしようと考えている。協力員の目的は、運営側の人を増やすことや理解を広めるところにあるの

か。

⇒両方の意味もあるが、自然発生的に協力員が増えてきた。背景としては一人事業所が増えてきており、拠りどころが欲しいという感覚があるので、相談支援部会との繋がりとして協力員になっていると考えている。

・放課後等デイサービス等のつどいについて質問。事業所は増えているが、以前からある事業所と新しい事業所での参加の温度差はあるのか？どのような内容でやっているのかも含めて聞きたい。

⇒今年度、久々の対面開催となり、以前からある事業所が多く来ていた。今年度2回開催したが、GWを中心に各事業所の活動紹介など情報交換を行っている。各事業所の事業内容の情報交換が有意義だったとの意見があった。また、経験年数の浅い方もいたので、次年度としてはそういった方を対象とした研修をしてみてもいいのではとの意見が幹事会であがっている。なお、放課後等デイサービスのつどいは、放デイの副部長2名と7事業所からの幹事が集まり、運営をしている。

・生活支援部会の課題、検討事項については、自然発生的に出たものなのか？

⇒メールでいただいたご意見で、本来であれば、中止となった第3回の部会にて意見を出す予定だった。これから、部会として協議を行っていく。

(2) 今年度の振り返り

○委員からの意見（運営会について）

<相談支援部会>

- ・専門部会であがってきた内容をどのように協議し、活かしていくのかを考える必要がある。
- ・運営会は協議をする場なので、本来の自立支援協議会の目的を遂行していく必要がある。

<生活支援部会>

- ・部会として課題提起となる意見をいただいた。今後、協議会として課題の吸い上げ方を考えたい。
- ・役員改選のアンケートを送付したが、3割程度の返答だった。返事が来ていない事業所に連絡をしたが、自立支援協議会の参加の目的を理解していない事業所があった。理解されていないと感じている。生活支援部会として、自立支援協議会の目的と役割について説明する必要があると役員で話をしている。

⇒新規事業所への声掛けについては、市が基幹に情報提供を行い、参加の声掛けをしているが、以前からある事業所に対しては、改めて声掛けすることはしていない。

<雇用就労部会>

- ・雇用就労部会のみでの参加だったため、役員になり運営会に参加することで、他の部会の活動について知ることができた。
- ・協議会の在り方や流れ、部会開催の難しさ等、足りない部分がある。なかなか参加していただけない事業所に対しての呼びかけなどを考えていきたい。

<教育療育部会>

- ・この2年間で部会構成委員を広げた。もともとは行政職に偏っていたが、各事業所から推薦を仰ぎ多職種が入るようになった。色々な意見が出るようになった一方で、的を絞った内容で協議ができず、情報交換の場となっている。情報を吸い上げる意味としても広げたが、整理していく必要がある。
- ・こども部会についても、他都市の動きを見ながら、釧路市で行う場合、教育療育部会が担うのか等、役員の中で話題となっている。

小池課長より

- ・今年度は、障がい福祉計画の策定にあたり、皆さまにご協力いただけたことを感謝している。また、相談支援部会から、児童の計画の更新時期の変更に関する課題提起をいただき、改めて検討をしていきたいと考えている。

(3) 次年度の活動計画

○事務局より

- ・資料1「令和6年度釧路市障がい者自立支援協議会 専門部会活動計画」に基づいて説明。
- ・4月18日までに、各専門部会の活動計画を基幹相談支援センターまで提出していただきたい。なお、様式についてはメールで送付予定。
- ・次回の運営会は、4月30日を予定。

(4) 次年度の役員体制

○各部会より、次年度の役員体制について報告

<相談支援部会>

佐々木 部会長 (サハスネット)

竹内 副部会長 (地域支援センターつばさ)

山本 副部会長 (いまじん)

※ 協力員…打川氏 (りりーふ)、鎌田氏 (鶴が丘学園)、葛野氏 (サポートルームのおと) 道下氏 (みち)、平間氏 (わんだふる)

※ 協力員については、随時募集を行う。

<生活支援部会>

高橋 部会長 (鶴が丘学園)

井上 副部会長 (生活介護事業所あゆみ)

佐藤 副部会長 (ニチイケアセンター北都)

<雇用就労部会>

和泉 部会長 (はしどいワークラボりれいと)

原田 副部会長 (障がい者就業・生活支援センターぷれん)

佐々木 副部会長 (くしろわんこ)

※ 協力員…宮田さん (すまいる 946)

<教育療育部会>

池田 部会長 (釧路市児童発達支援センター)

高野 副部会長 (サポートルームのおと)

高橋 副部会長 (ゆ~ゆ~)

千田 副部会長 (シズクル)

<権利擁護部会>

佐藤 部会長 (くしろ合同法律事務所)

木村 副部会長 (地域生活定着支援センター)

○事務局より

- ・各専門部会部会長は全体会委員になるため、承諾書の提出をお願いしたい。

(5) 障がい者地域生活支援拠点等事業について

○事務局より

・資料2 「釧路市障がい者地域生活支援拠点等事業の報告について」

資料3 「事前登録シート」

資料4 「令和5年度 釧路市障がい者地域生活支援拠点等事業の振り返り (PDCA サイクル)」に基づいて説明。

・前回からの変更として、事前登録者が2名から1名になっている。なお、1名は施設入所となり登録廃止。現在、1名の相談対応中であり、増加の見込み。

・ゼペットの会の代表と面談し、地域生活支援拠点等事業についての聞き取りを行っている。

- ・今年度の振り返りとして、両親や兄弟などのご家族からの将来の不安に関する相談が増えている。
- ・課題として、夜間に看護師配置のある受け入れ先が不足している。
- ・当事者団体や病院などに対して啓発活動を行ってきたが、その他関係機関への啓発活動を引き続き行っていく。

(6) その他

○事務局より

- ・資料5 「研修会の案内方法について」に基づいて説明。
- ・資料を参考に案内文書を作成していただきたい。

4. 閉会